

安心でき、頼れる年金を

■「減らない年金」へー3つの財源づくり

以下の改革で、マクロ経済スライドを廃止、「減らない年金」へ。

①高額所得者の保険料見直し

年金保険料は年収1千万円を超えると2000万円でも1億円でも保険料が増えません。これを見直し、1兆円規模の財源をつくります。

②年金積立金の活用

年金積立金は欧州各国では給付額の数カ月分。4年間分、200兆円もある日本。積立金を給付に活用します。

③賃上げと正社員化をすすめ、保険料収入と加入者増を

年金の支え手である労働者の賃上げと非正規雇用の正社員化で、保険料収入と加入者を増やし、年金財政を安定させます。

■低年金者の年金を底上げします

消費税とは別の財源を確保し（裏面）、基礎年金満額（月6.5万円）以下の低年金者に一律年6万円の給付を上乗せします。



日本共産党

■最低保障年金をつくり頼れる年金を

将来的には月5万円の最低保障をします。国民年金6万5千円が8万3千円に。財源は、賃上げと所得税の累進強化による税収増で。

制度解説

比例代表は政党名を 個人名でも投票できます

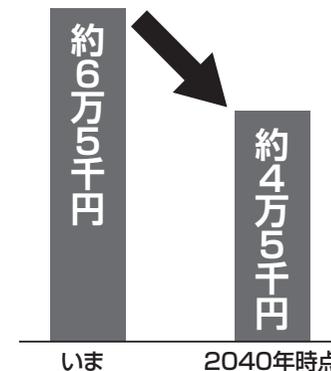
年金 7兆円削減か 減らない制度か

どちらがばかげてる？

共産党躍進で暮らせる年金を

安倍首相は、6月19日の党首討論で、日本共産党の志位和夫委員長が年金受給額を自動的に減額する「マクロ経済スライド」の廃止を求めたのに対し、「ばかげた案」と拒否。同制度を廃止し給付水準を保障するには「7兆円の財源が必要だ」と言及しました。

マクロ経済スライドによる年金削減を続けた場合の国民年金受給額（満額・月額）※政府の資料等に基づいて作成



減額の仕組みなくし、底上げを

これは国民の年金を7兆円規模で奪うということ。現在満額で6万5千円の国民年金が、2040年には4万5千円程度にカットされることとなります（グラフ）。

安倍首相は、「年金制度の安定のため」といいますが、制度は続いて老後の暮らし

が成り立ちません。日本共産党は、マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」にし、さらに低年金者への底上げを提案しています（4面参照）。どちらが「ばかげた」政策か、明らかです。

日本共産党

近畿民報

2019年7月 No.1 (第372号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。